



10/27 (木) フジグラン緑井リニューアルオープン！

株式会社フジ（本社：愛媛県松山市、代表取締役社長：尾崎英雄）は、フジグラン緑井（広島県広島市）の改装を7月から順次行ってまいりました。そして、すべてのリニューアルを完了し、10月27日（木）にグランドオープンいたしますので、その概要についてお知らせします。

フジグラン緑井が立地している安佐南区では、20～40代のファミリー世帯の割合が高いことから、この世代を対象にした新規テナントを導入するとともに、SC機能の強化、売場環境の整備を行い、利便性と買いまわり性の向上を図りました。「グランでつくる、わたしの毎日～フジグランが中心の暮らし・まちを創造する」をコンセプトに、ファミリー層をはじめとした幅広い年代のお客さまが快適にゆっくり過ごすことができるSCを目指します。

【リニューアルのポイント】

①新規テナント「アカチャンホンポ」導入

マタニティ・ベビー・キッズ用品を展開する「アカチャンホンポ」を導入します。子育てのシーンをイメージしやすいよう、生活シーン別・月齢別の売場づくりを行い、お客さまにとって「わかりやすい売場」「選びやすい売場」「イメージがふくらむ売場」を追求します。またアカチャンホンポにしかないオリジナル商品の提供はもちろん、子育てを応援するイベントなどを通じて、お客さまに新たな価値をご提案します。また広島県内では初めての取り組みとして、タブレット端末でのご注文システムを導入します。店頭で取り扱いのない商品もご購入をいただけることで、お客さまの利便性の向上を図ります。



②「TSUTAYA」拡大

「TSUTAYA」を拡大し、絵本や児童書、文庫を充実させることで、ファミリー層の集客を図ります。また直営売場で取り扱う子ども関連商品や文具・玩具コーナーと隣接させて展開することで親和性を高め、買いまわり性の向上を図ります。



③文具・玩具コーナーの拡充

20～40代のファミリー世帯のニーズにお応えするため、文具・玩具コーナーをメイン通路沿いに移設し、視認性を上げることで訴求力を高めました。文具コーナーでは、特に学童文具を中心に筆記具の品揃えを充実させています。



④買いまわりしやすい食料品フロアに

視認性・買いまわり性を高めるため、什器やレイアウトを見直し、通路幅を拡大しました。食料品フロアの前面に配置している青果コーナーでは、より一層鮮度感や季節感を演出します。また、各コーナーでこだわりの商品や話題の商品を充実させています。



⑤パブリックスペースの充実

ベビールームや子どもの遊び場を利用しやすく清潔感のあるスペースにリニューアルしました。また各フロアで休憩用ソファを増設したことで、お子さま連れはもちろんシニア世代のお客さまにもゆっくりと快適に過ごしていただけるようになり、3世代がくつろげるSCになりました。



以上